

上橋菜穂子さんの作品に関するボランティアに参加して

河合 恵（文学部文学科）

私は、司書課程学校図書館司書教諭コースを履修しており、そのご縁で上橋さんの本を紹介するボランティアに2つ参加しました。「上橋菜穂子さんの世界～人とその作品～展」の展示作成ボランティアと、陸前高田で開催された上橋さんの講演会をお手伝いするボランティアです。これらのボランティアに参加して得たものは多かったように思います。

展示作成のボランティアでは、私は「上橋さんの作品紹介」と「上橋さんの人物・執筆環境紹介」の班を掛け持ちで担当しました。私は幼少から上橋さんの作品のファンであり、少しでも多くこの活動に関わりたかったので、班を掛け持ちしました。どちらの班の活動も、図書館に展示するパネルを作成することが主な活動でした。

この活動は同期や先輩、先生方の意見を頂きながら楽しく行ったものでしたが、苦勞もありました。例えば、私の勉強不足のためではあるのですが、著作権に関しては不明点が多く戸惑うことも多かったです。上橋さんの作品の挿絵や表紙について、著作権者の使用許可をどのような使用法ならば頂けるかが不確実なままでパネルを作成しては、やり直しということもありました。また、パネル作成では個人に役割分担した結果、パネル全体でのデザインの統一感を出すことに苦勞しました。結局、パネルの展示する壁をそのデザインによって分けることで、統一感のある展示スペースを目指しました。

このように、慣れないパネル作成には苦勞もありましたが、そこから学んだことも多くありました。まず、著作権の重要性と厳密性がよく分かりました。パネルの文章を書くときに、言い回し一つ一つに正確性と統一感が求められることも知りました。パネルデザインの難しさや、展示品選別の難しさも感じました。また、ひとつの展示を行うにも多くの方々の協力に支えられているということを知りました。このボランティアに参加しなかったら出会うことがなかった方々に出会えたということは、私にとっての財産です。



展示スペースから通路をはさんで反対側に作品紹介等のカラフルなポスターを並べた

このボランティアのお蔭で得た出会いの中には、上橋さんとの出会いもありました。展示中の8月10日に、上橋さんがお忙しい中、池袋図書館内の展示を見て下さいました。一つ一つ展示を丁寧にご覧になってから、在学中のお話をして下さいました。上橋さんにお会いできたというのは、私にとっては生涯忘れられない事件です。このような貴重な機会をくださった、このボランティア活動に関わるすべての方に感謝します。

上橋さんの講演会のお手伝いをするボランティアでは、講演会当日に実際に陸前高田の講演会場まで行きました。陸前高田にお住まいの方を中心に、上橋さんの作品の愛読者がたくさん会場にいらっしゃいました。年代も性別もさまざまな方々でした。年齢や性別の違いをこ

えて人々に愛され、かつ人々をこの講演会のような形で結びつける。そんな上橋さんの作品の、そして、本というものの力と魅力を改めて感じました。

最後になりましたが、陸前高田でのボランティア活動を長年続けてこられた方々の努力と苦勞があって、今回の展示会と講演会は実現しています。その多くの方々に心からの尊敬の念を表します。